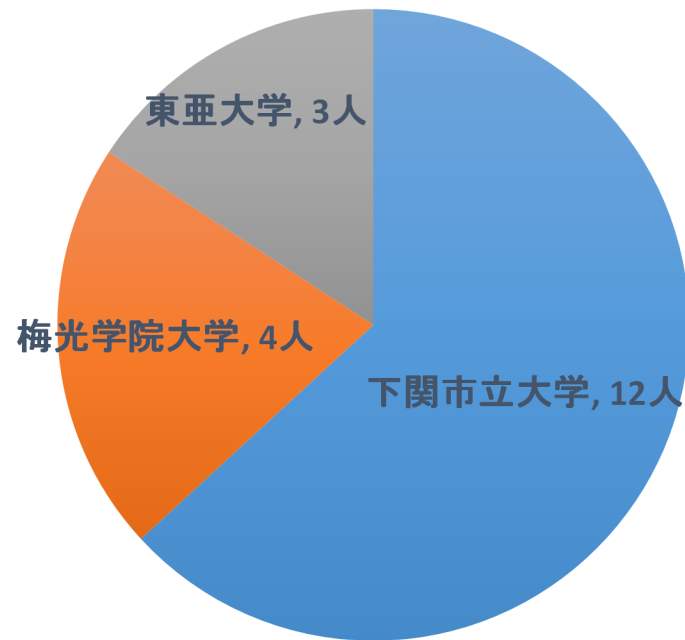


デジコンしものせき2024 アンケート集計結果

- アンケート実施期間：令和7年1月11日～17日
- 回答者：19名



■アンケート内容

Q1.最終審査を終えて、デジコン全体についての満足度はいかがでしたか。

Q2.Q1について具体的に満足したこと、不満点などありましたらお聞かせください。

Q3.デジコンに参加しようと思った理由をお聞かせください。

Q4.デジコンを通じて、「下関市の観光振興」に対する興味・関心は高まりましたか。

Q5.Q4に関して、感想や印象に残ったことがありましたらお聞かせください。

Q6.デジコンを通じて、課題解決に向けて、デジタル技術を活用して新しいものを生み出すことに興味・関心は高まりましたか。

Q7.デジコンを通じて、課題解決に向けて、デジタル技術を活用して新しいものを生み出すことができるという視点が身につきましたか。

Q8.Q5とQ6に関して、感想や印象に残ったことがありましたらお聞かせください。

Q9.チーム活動について満足度はいかがでしたか。

Q10.Q9に関して、感想やご意見がありましたらお聞かせください。

Q11.デジコンに参加したことでご自身の成長に役立ったと感じたことがあればお聞かせください。

Q12.今回のデジコンを通じて、「こういう機会があればもっと成長できた」ことがあればお聞かせください。

Q13.運営（事務局、メンターなど）について満足度はいかがですか。

Q14.Q13に関して、コメントがありましたらお聞かせください。

Q15.デジコンでできたソリューションをプロジェクトとして進めていきたいですか。

Q16.次回デジコンが開催された時、メンターをやってみたい、もう一度参加者として参加したいなど、お考えがあればお聞かせください。

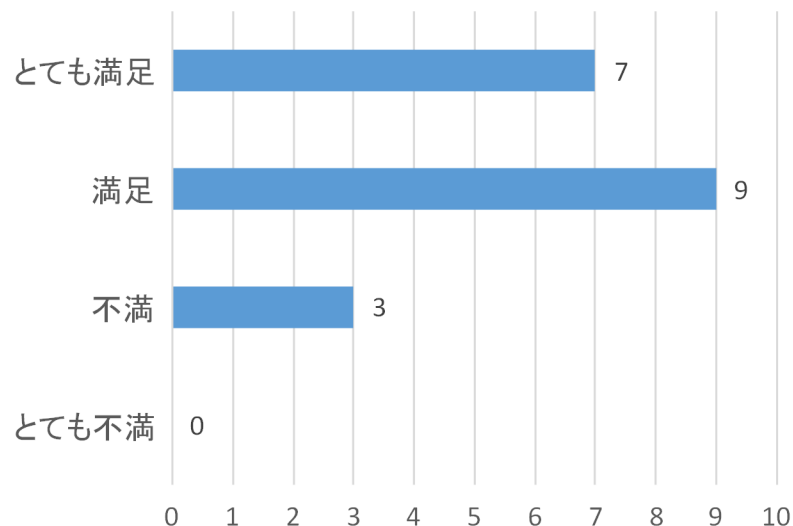
Q17.「観光振興」以外で挑んでみたい課題があればお聞かせください。

Q18.このイベントを知人・友人に勧めたいと思いますか。

Q19. Q18で「思わない」と回答した方は、どのような点が改善されれば知人・友人に勧めたいと思いますか。

Q20.その他、何かご意見等がありましたらお聞かせください。

Q1. 最終審査を終えて、デジコン全体についての満足度はいかがでしたか。



●とても満足

- ・たくさんの有識者と関われたこと、お話できたことに満足できました！また、デジコンを通して多方面で成長を感じられました！強いて不満な点を挙げるとしたら発表内で考えていることの全てを説明しきれなかったことです。
- ・figmaやクリックなど触ったことのないソフトに触れたり、チームワークがより深まった。
- ・チームで協力して最優秀賞に輝けたため。観光に感心がもともとあったため、有識者から多くのお話や有用な情報を聞くことができたため。

●満足

- ・楽しかったです。
- ・受け身ではなく自ら動く活動でこれまでしたことのないような経験をできたことが非常に良かったです。また、有識者の方とお話できたことが刺激になったと思っています。
- ・審査員やメンター、運営に関わる方々からたくさんのご意見やアドバイスをいただきながら課題解決を考えていくことがとても成長に繋がったと思います。鋭い指摘に最初は緊張していましたが、真剣に私たちのソリューションのことを考えてくださっていることが伝わってきました。ただ肯定するだけでないあたたかさを実感しました。
- ・とても疲れました。

●不満

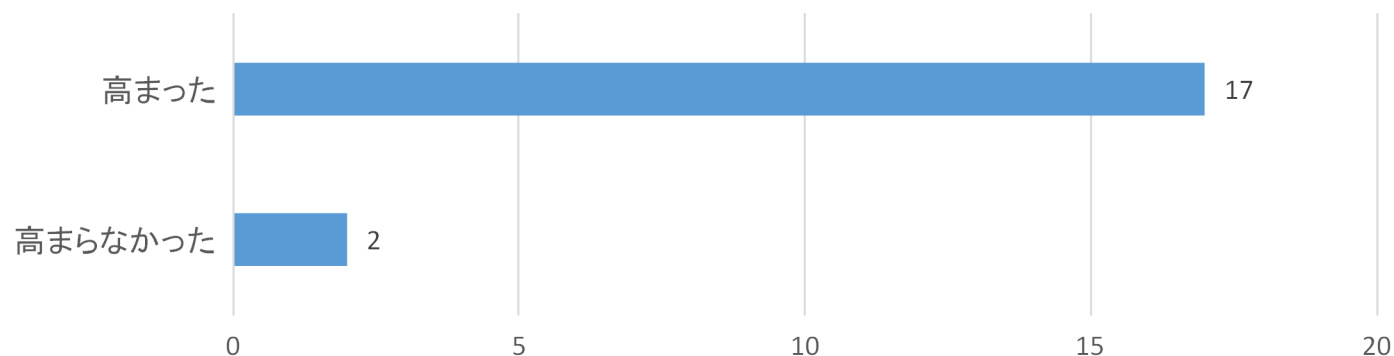
- ・判断基準がよくわからない。会議の話し合いが進まない。日程と要求のズレが大きい。

Q3. デジコンに参加しようと思った理由をお聞かせください。

- ・テーマが面白そうだった。新しいことに挑戦したかったから。
- ・最優秀賞のインターンシップが魅力的だったから。
- ・Aキャンパスで他大学の学生と交流したかったため。
- ・stemの先輩に勧められて、やると自分のためになると思ったから
- ・誘われて、じぶんにとって良い経験になると考えたから。
- ・バイト先の勧誘
- ・友達が授業を受けると言っていたから。
- ・都市デザインという名前に惹かれたからです。元々観光に興味があったため参加しようと思いました。
- ・面白そうだと思ったのと、観光についての興味がとてもあったから参加しようと思いました。
- ・誘っていただいたからです。企業見学ツアーに企業説明会で行った企業があったこともモチベーションになりました。
- ・プレゼンやIT面、ディスカッションなどで成長するため。ガクチカのため。
- ・ガクチカのため。

※ガクチカ・・・就活の面接質問における「学生時代頑張ったこと・力を入れたこと」の略称。

Q4. デジコンを通じて、「下関市の観光振興」に対する興味・関心は高まりましたか。



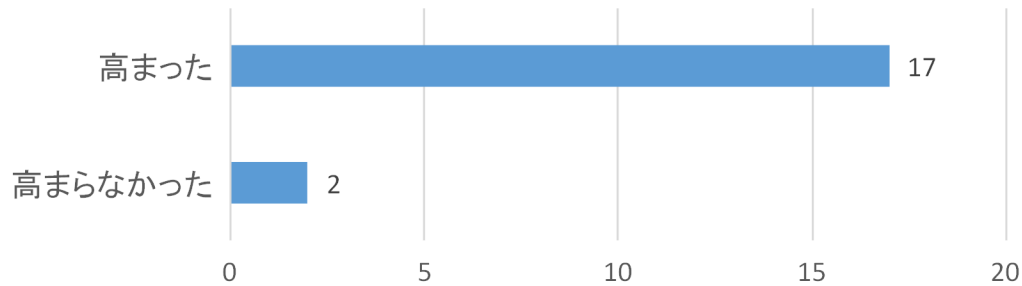
● 高まった

- ・ 下関市立大学で和田社長が講義されている「下関の観光」と掛け合わせて、下関の観光について詳しくなれて、観光マーケティングについても3ヶ月という短い期間ではありますが、集中的に勉強できたので、かなりタメになりました。
- ・ 地元佐賀も魅力度ランキングが低いので佐賀バージョンで考えてみたいと思った
- ・ もともと市大の講義で和田先生から下関の観光に関する内容、主に観光地の詳細や伝えることの大切さを学んではいたが、デジコンをキッカケとして多くの方から観光やデジタルの知見を広げることができたこと。
- ・ 下関に対する知識が増えて行ってみたいと思った。
- ・ 自分の将来像的に市の観光についてこんなに深く考える機会は今後ないことだと思うので、そういった意味では良い経験になったと思います。
- ・ 疲れました。
- ・ 観光を盛り上げたいです。
- ・ 私も唐戸以外はほとんど知らなかったですが新たな魅力を発掘できたことがよかったです。
- ・ 副市長さんや和田さんのところに実際にヒアリングに行って沢山のことを知ることができたから地元民としてもともと市の観光業に興味はありましたが、今回のデジコンでより自分ごととして考えるようになりました。実際に市の報告書やその生データを見ながら分析できたのはとても面白かったです。

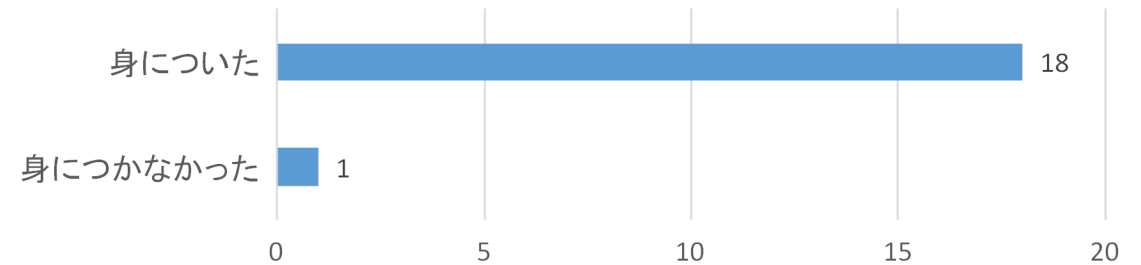
● 高まらなかった

- ・ 自分的にはソリューションを開発する上での技術的指導が1番ありがたかった。

Q6. デジコンを通じて、課題解決に向けて、デジタル技術を活用して新しいものを生み出すことに興味・関心は高まりましたか。



Q7. デジコンを通じて、課題解決に向けて、デジタル技術を活用して新しいものを生み出すことができるという視点が身につきましたか。



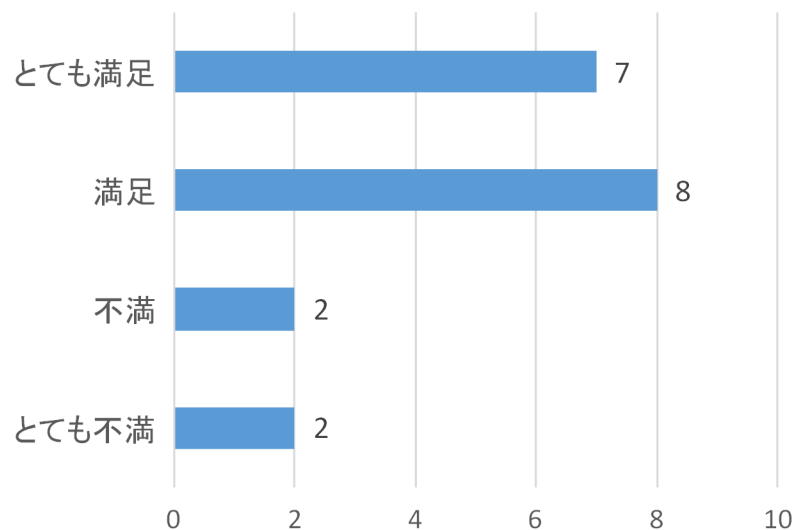
● 高まった、身についた

- ・元々デジタル技術に関しては興味を持っていたのですが、インプットもアウトプットも実践的にこの機会に行えたのでよかった。
- ・クリックによるプログラミングを知り、使ってみたいと思った。
- ・デジタルにできることの幅は、意外と広いのだと実感できた。
- ・実際にアプリを作る工程を知れた、体験できたから
- ・私がこれから大学で学ぶものがこんなすごいものを生み出せるという発見に繋がった。
- ・パワーポイントを作ることが出来てよかった。
- ・観光に興味があるため、今後もこのような機会があればぜひ参加して今回のことを活かしたいです。
- ・技術メンターの渡邊諒さんがとても献身的にサポートしてくださった。

● 高まらなかった、身につかなかった

- ・これから自分にできる未来が見えなくなった。興味が薄れてしまった。

Q9. チーム活動について満足度はいかがでしたか。



●とても満足

- ・楽しかったです。
- ・別大学の学生さんと関わったことに非常に意味があったと思います。私は市立のデータサイエンス学部と学生さんとタッグを組みましたが、データサイエンスについて触れることもできました。

●満足

- ・私たちのチームは実質的に2人しかおらず、他の班と人数面での不利さを感じざるを得ない部分がありました。
- ・メンバーが少ない全員1年だったので作業や会議が不安だった。
- ・少しタスクの比重にメンバーごとに偏りがあったことが、今回の課題だった。
- ・学業で忙しい人がおり、しょうがないとはいえもっと何か補填はないのだろうか気になった。

●不満

- ・他大学と強制で同じチームかつ期間が短かったので、予定合わせや意思の疎通が難しかったです。最大限努力してもモチベーションに差が出たり、特定のメンバーにだけ負担がかかっていたりしたと思います。

●とても不満

- ・チームメンバーが抜けると残った人の負担が大きい。
- ・梅光学院の生徒は単位取得のために参加した人が多く、だからこんなに辞める人が出現したのだと思う。メンバーの離脱、メンバーとの連絡が不十分など様々な不満がたまり、正直心が何度も折れた。メンターさんに助けられた。

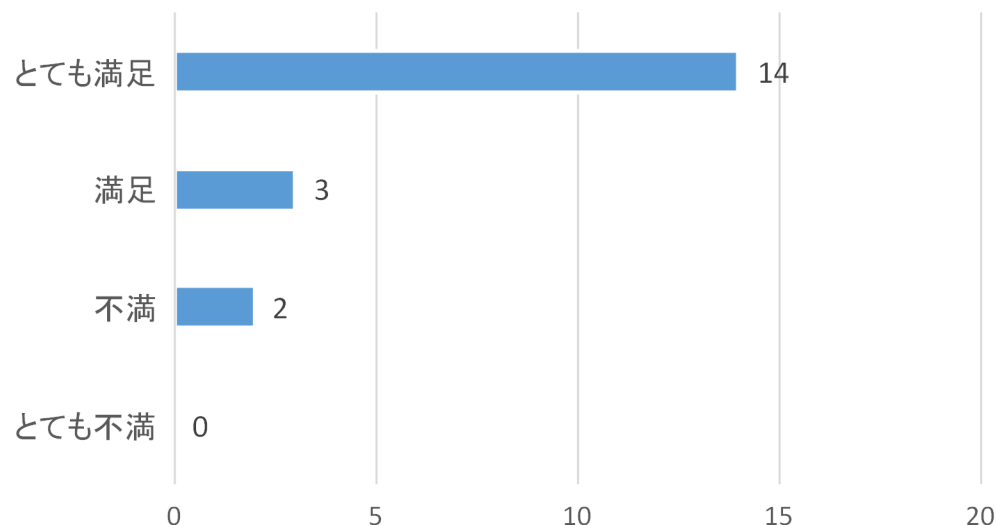
Q11. デジコンに参加したことでご自身の成長に役立ったと感じたことがあればお聞かせください。

- ・問題解決は1度もしたことがなく、デジタルを使ってだったから難しかったが、自分の意見を言うことや、問題点に目を向けることが役立ったと思いました。
- ・分析技術、プログラミング技術が身についた。
- ・発表力が高まった
- ・自ら行動する力が身についたと思います。
- ・今回は他のメンバー全員が後輩だったこともあり、ある程度引っ張らないとという意識が芽生えたこと。
- ・今までにこんなに嫌な思いをしながら活動をしたことがなかったので、これまでに見たことがない自分を見れた。新たな自分を知れた。また、会議自体初めてで、この期間で会議というものを経験できて慣れることができてよかった。
- ・技術メンターの方が、まず自分たちで考えさせてから、疑問に対して徹底的に答え、サポートするというスタンスで居てくださったのでとても成長できたと思います。
- ・会議、プロジェクトの進め方、figmaの使い方がわかった。
- ・パワーポイント作りディスカッションやヒアリングがメインの活動となり、デジコンでしかできない有識者との関わりが特に成長に繋がったと思います。

Q12. 今回のデジコンを通じて、「こういう機会があればもっと成長できた」ことがあればお聞かせください。

- ・最初の課題定義の期間がもっと長ければより深く洞察を深めれたのには思った。
- ・プログラミングやfigmaの作成の協力体制の強化。
- ・メンバー同士もう少し集まれる機会が欲しかった。
- ・もう少し期間があればヒアリングや議論を進めたり、試作品のクオリティを上げることができたと思います。
- ・現地調査やヒアリングの機会、デジコンそのものの期間がもっと欲しかった
- ・技術メンターさんともっと関わる時間があればデジタル技術面でより成長できたと思う。

Q13. 運営（事務局、メンターなど）について満足度はいかがですか。



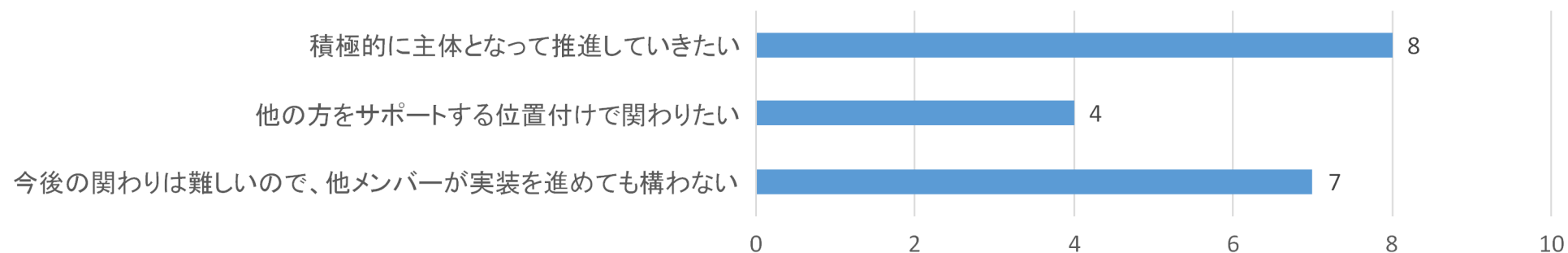
●とても満足

- ・我々のことをかなり気にかけてくれたので、助けられっぱなしだった。
- ・たくさん助けていただいた。特にメンターさんに1番感謝を伝えたい。他にも関わりは少なかったものの、推進協議会の方や有識者の方々のアドバイスや優しい声かけが精神的に救われた。
- ・すごい頑張って下さっていました。
- ・対応が丁寧かつ迅速で助かりました。
- ・自身の至らない点が多々あったのですが、親切にご対応いただき、ありがとうございました。

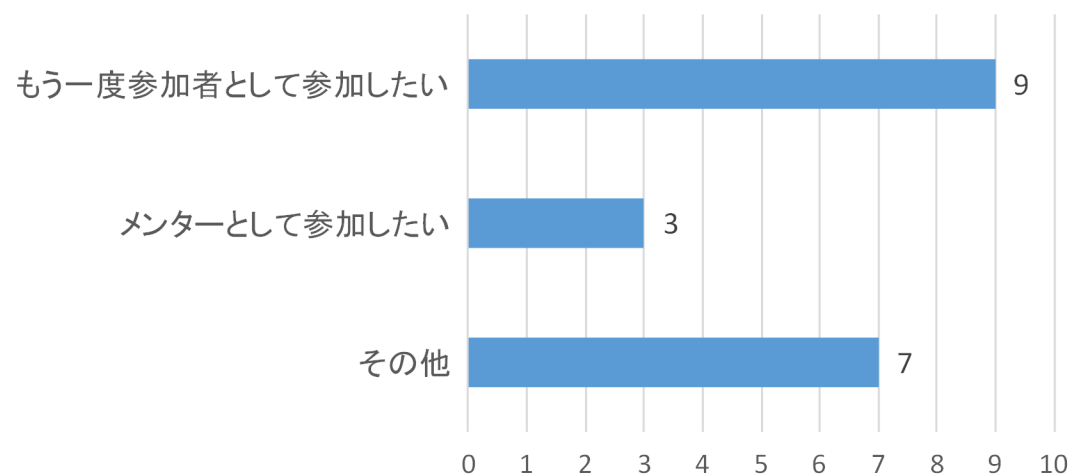
●不満

- ・助けてもらえる機会はたくさんあったのはありがたかったが、会議が補助人がたまに入ると、会議が進まなくなるのと、他の班と意見が似てくる。
- ・「デジタルソリューション」の定義や、試作品の程度について、審査員の方間で認識の違いを感じ、どこを目指せばいいのか迷った期間がありました。また、途中のメンバー追加に関しては、正直もう少し公平な救済制度をはじめに協議してほしかったと思ってしまいました。

Q15. デジコンでできたソリューションをプロジェクトとして進めていきたいですか。



Q16. 次回デジコンが開催された時、メンターをやってみたい、もう一度参加者として参加したいなど、お考えがあればお聞かせください。



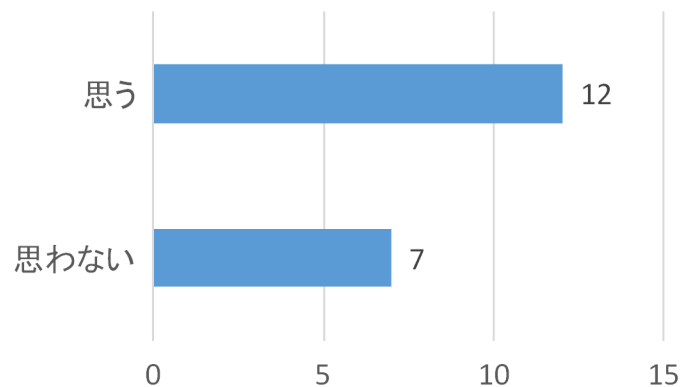
●その他の回答

- ・他の集中授業を受けたい。
- ・疲れました。
- ・参加しない。
- ・参加しても続けて頑張れる自信がないです。
- ・今後参加することは考えておりません。
- ・したくない。
- ・あまり考えられない。

Q17. 「地域の観光振興」以外で挑んでみたい課題があればお聞かせください。

- ・デジタル技術でできること、発展性について
- ・悩みやハンデを抱える方と関わる活動
- ・工業系
- ・高齢者の課題
- ・人口増加のための、Uターン,Iターンやデジタルノマド誘致
- ・大学の魅力向上

Q18. このイベントを知人・友人に勧めたいと思いますか。



●知人・友人に勧めたいと思うための改善点

- ・毎週の会議がきつかったです。
- ・友人や後輩たちに同じ思いをしてほしくないから。
- ・運営による公平な対応。
- ・レベルがごく必要だからだ。